

平成 30 年 1 月 26 日

次期基幹系システムとして株式会社 NTT データとの共同センター

「STELLA CUBE®」利用に関する基本契約の締結について

名古屋銀行（頭取 藤原 一朝）は、株式会社 NTT データ（代表取締役社長 岩本 敏男）（以下、NTT データ）が運営する共同センター「STELLA CUBE®」（ステラキューブ）を次期基幹系システムとして採用することを決定し、同社と基本契約書を締結いたしましたのでお知らせします。

当行は、同システムの採用により「長期安定稼働に資するシステム」を構築し、「FinTech 対応や商品開発やサービス提供の更なるスピードアップ」、「IT コストの抑制」等を図ってまいります。

記

1.経 緯 当行では、昨今の地域金融機関における経営環境やデジタル化社会の到来を受け、中長期的な基幹系システムのあり方や IT 資源の活用について多面的に検討してまいりました。

このたび、お客さまのニーズへの迅速な対応とサービスの向上、システムの安全性強化、さらには当行のビジネス戦略を実現していくための先進性などの観点から、「STELLA CUBE」を次期基幹系システムとして採用することを決定し、同社と基本契約書を締結いたしました。

2.概 要

（1）契約締結日	平成 30 年 1 月 25 日（木）
（2）利用予定の業務範囲	預金・為替・融資等の業務処理機能、お客さまのシステムや外部センターとの接続機能等を担う基幹系システムを利用する予定です。
（3）利用開始時期	平成 33 年を予定しております。

3.特 長

（1）拡張性と柔軟性に優れた最先端システム

当行の業務ノウハウとの融合により、お客さまのニーズにあった商品・サービスをより一層迅速かつ安定的に提供することが可能となります。

（2）システムの安全性と安定性

NTT データの提供する「STELLA CUBE」は、平成 23 年 10 月のサービス開始以降、安定した運用を続けており、当行にとって信頼性の高いシステム運営とセキュリティ管理の一層の強化が実現できます。

(3) 基幹系共同センターのスケールメリット

システム開発・運用等のシステムコストの更なる削減により業務の抜本的な見直しが可能となり、経営基盤の強化が期待できます。

【ご参考】

「STELLA CUBE」は、標準バンキングアプリケーション「BeSTA[®]」(Banking application engine for Standard Architecture)を採用し、平成 23 年 10 月より稼働している地方銀行、第二地方銀行向け基幹系共同センターです。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>
事務システム部 システム開発グループ
森・山田 TEL 052-709-1552